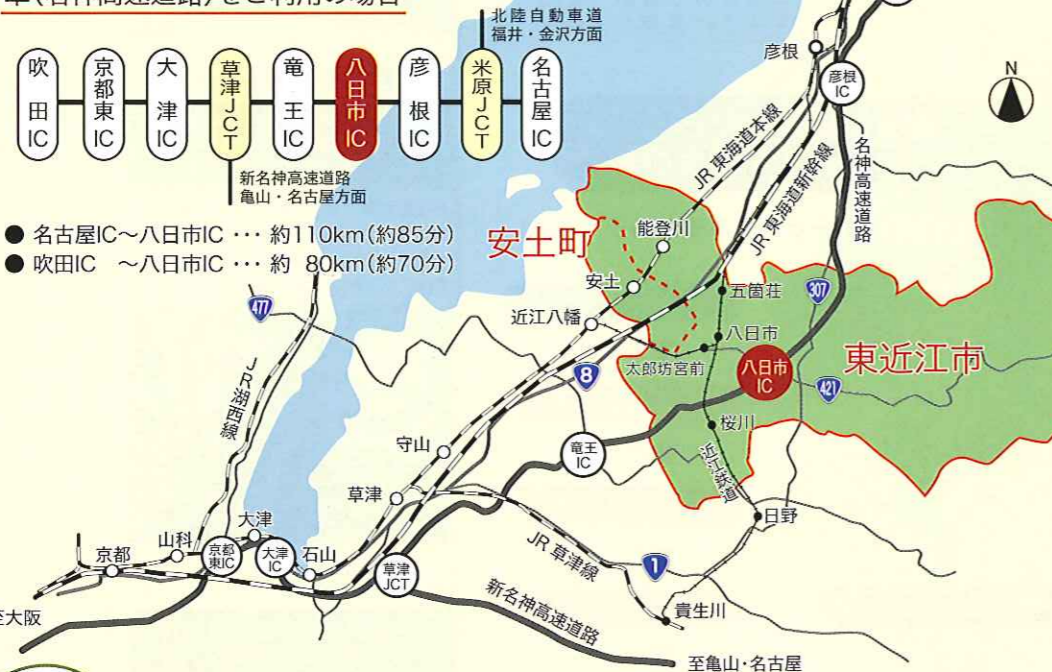


ACCESS GUIDE

電車をご利用の場合



車(名神高速道路)をご利用の場合



安土町

国を動かした英雄はここから旅立った…

織田信長が天下統一の拠点に選んだ「あづち」。この地に築いた安土城はわずか3年で信長と共に滅びました。
「幻の名城」の謎と信長の夢をたどりながら歴史をひも解いてみませんか。



おすすめコース

- 水郷コース(所要時間3時間)
水に恵まれた安土の都をゆったりと歩く
- 万葉コース(所要時間6時間)
万葉の歌が聞こえてくる町を巡る
- 信長コース(所要時間3.5時間)
信長の夢の跡を辿る



東近江市

近江商人発祥の地、三方よしの精神を受け継ぐまち…

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された五箇荘金堂の町並み。
白壁と舟板張りの土蔵が続く風情豊かな五箇荘で、近江商人の精神を探してみませんか。



てんびんの里
五箇荘

* このパンフレットに関するお問い合わせは *

安土町観光協会

〒521-1343 滋賀県安土町小中700(安土城郭資料館内)
TEL: 0748 (46) 7049 FAX: 0748 (46) 7050

<http://www.azuchi-shiga.com/>

東近江市観光協会

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町2-3(東近江市役所五箇荘支所内)
TEL: 0748 (48) 2100 FAX: 0748 (48) 6698

<http://www.higashiomi.net/kanko/>

滋賀県
東近江市・安土町

白洲正子が愛した
「かくれ里」

東近江市・安土町のたび

白洲正子が愛した「かくれ里」
ゆかりの地を訪ねて…



白洲さんが石の美しさを知るきっかけになった石塔寺の塔 *



「近江の中でも、一番空が広いのはここかも知れない(近江山河抄)と考えながら、織山から安土の方を眺め白洲さん *

東近江市観光協会・安土町観光協会

写真提供: 武相荘

白洲正子が愛した“かくれ里”



11【永源寺 (えいげんじ)】
臨済宗永源寺派の総本山で、秋は金山紅葉に包まれて紅に染まる関西有数の紅葉の名所
拝観時間 / 8:00～16:00
休み / 無休
P / 200台(有料) 料金 / 大人500円
電話 / 0748-27-0016



10【百済寺 (ひゃくさいじ)】
湖東三山のうち最も南に位置する県内最古級の寺院で、日本紅葉百選にも選ばれている
拝観時間 / 8:00～17:00
休み / 無休
P / 220台(大型可) 料金 / 大人500円
電話 / 0749-46-1036



9【君ヶ畑 (きみがはた)】
大皇器地祖神社・金龍寺(高松御所)がある自然に囲まれた山里で、木地師発祥の地
このあたりの集落「六ヶ畑」の中では君ヶ畑が木地師の伝承を色濃く止めている



「君ヶ畑につき、ほっとする。山奥のかくれ里には、静かな山に木を引く音がこだまするだけで、千年の眠りをむさぼっているような村のたたずまいである。この社の杉は見事なもので、千年以上を経た大木がそびえ、木地師の神の名にそむかないものがある」(かくれ里)

8【石塔寺 (いしどうじ)】
参道の石段を上った先に見える三重石塔の阿育王塔と、無数の石仏・石塔が並ぶ
拝観時間 / 9:00～17:00
休み / 無休
P / 30台 料金 / 大人400円
電話 / 0748-55-0213



「あの端正な白鳳の塔を見て、私ははじめて石の美しさを知った」(かくれ里)
「私は日本一の石塔だと信じている。…全体の感じが柔らかく、しっとりとして、たとえば高麗の茶碗に似た味わいがある。…あえてつけ加えるならば、その人間的な美しさは美しいとさえいえるであらう」(近江山河抄)

7【太郎坊宮 (たろうぼうぐう)】
蒲生野を一望できる場所に社殿があり、巨岩が露出した特異な山には神聖な雰囲気漂う
拝観時間 / 本殿等は17:00に閉門
休み / 無休
P / 50台(大型可)
電話 / 0748-23-1341



「八日市の近く、太郎坊の山頂にも「夫婦岩」と名づける巨巖があり、二つの岩の間に、人がようやが通れるほどの参道が通っていて、その向うに本殿がのぞめる」(かくれ里)

6【石馬寺 (いしばじ)】
役行者腰掛像などの十一体の国指定重要文化財の仏像が拝観でき、境内の紅葉も美しい
拝観時間 / 9:00～17:00
休み / 月曜(予約により拝観可)
P / 10台 料金 / 大人500円
電話 / 0748-48-4823



「苔むした自然石の石段がつづく。…下から見あげる芽草の本堂は美しい。…私の興味をひいたのは、水牛に乗った大威徳明王であった。等身大一木作りの、のびのびとした彫刻で、ことに水牛がすばらしい。頭をちよつと左にかたむけ、恭順を示しながら、一刹那あれば飛び出しそうな気配である」(かくれ里)

5【沙沙貴神社 (ささきじんじや)】
近江を守護した佐佐木源氏一族が敬拝する神社で、近江百華苑に四季折々の花咲く神域
拝観時間 / 9:00～17:00
休み / 無休
P / 30台(大型可)
電話 / 0748-46-3564



2【観音正寺 (かんのんしょうじ)】
西国三十三所観音霊場の第32番札所で、総白檀の千手千眼観世音菩薩坐像の香気が漂う
拝観時間 / 9:00～17:00
休み / 無休
P / 20台
電話 / 0748-46-2549



「天辺に観音正寺という古刹があり、…麓から頂上まで、けわしい自然石の石段で、…それだけ頂上へ辿りついた時は、ほっとした気分、紫にけむる薄生の野を見渡して、『観音浄土』とは、正にこのことだと思つた」(かくれ里)
「近江の中で、一番空が広いのはここかも知れない。…安土の方を眺めていると、なぜ信長があんな所に城を築いたか、うなずけるような気がして来る。…観音寺山を背景に、たださえ広い薄生の野の一角にそびえる天守閣からは、殆ど近江全体が見渡され、三方水にかこまれた白亜の建築は、竜宮城のように美しく、あたりを圧して君臨していたに違いない」(近江山河抄)

1【桑實寺 (くわのみでら)】
西国薬師第46番で、初代定恵和尚が唐から桑の実を持ち帰り養蚕を始めたのが名前の由来
拝観時間 / 9:00～17:00
休み / 無休 (冬期～16:00)
P / 5台 料金 / 大人300円
電話 / 0748-46-2560



「ここも石段の美しい寺で、その石段のまわりには梅がたくさん植わっていた。…暮れゆく湖水を眺めながら、…るりの光を夢に見て、仏を愛したというの、それにしてもなんといい気宇壮大な想像力であらう。そういう思想が、信長を生み、秀吉を育てた」(かくれ里)

3【教林坊 (きょうりんぼう)】
紅葉と竹林の対比が見事な、わび・さびの雰囲気がある小堀遠州作の名勝巨石庭園が見所
拝観時間 / 9:30～16:30
休み / 土日祝以外(11/1-12/10は無休)
P / 40台 料金 / 大人500円
電話 / 0748-46-5400



「橋が多い所で、落橋を踏みながら登る石段のあたりは趣が深い。…ここで私の興味をひいたのもう一つの慶長時代の石庭で、…それは古墳を利用してあるのだった。…私はふと、日本の庭園の原型は、前方後円墳にあるのではないかと、思つた」(かくれ里)

4【奥石神社 (おおいじんじや)】
万葉集にも詠われた老蘇の森にあり、本殿が国の重要文化財に指定される桜と安産の守り神
拝観時間 / 9:00～17:00
休み / 無休
P / 20台
電話 / 0748-46-2481



「織山を真後ろにして、鳥居の向うに神々しい森が望まれ、昔の人になぜともてはやされたか、わかるような気がする。…ここには石をめぐると一つの世界、石造の技術にたけた人々の、大きな集団がいとままれていたに相違ない」(かくれ里)

※ 数多くの著作のうち、特に東近江市、安土町を描いた作品から抜粋して紹介しています。

今なお多くの人をひきつけてやまない随筆家の白洲正子さんは随筆・かくれ里の中で「秘境と呼ぶほど人里離れた山奥ではなく、ほんのちよつと街道筋から離れた所に、今でも『かくれ里』の名にふさわしいような、ひっそりとした真空地帯があり、そういう所を歩くのが、私は好きなのである」と評し、近江は足繁く訪れるお気に入りの地でした。



随筆家の白洲正子さん(1910-98) 写真提供: 武相荘